

(様式3の2)

つくば中心市街地まちづくりビジョン(案)の背景・経緯等

つくば市都市計画部市街地振興課学園地区市街地振興室

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

筑波研究学園都市の概成から38年が経過し、この間、我が国や本市を取り巻く社会情勢や市域の都市構造などが大きく変化してきています。とりわけ、筑波研究学園都市の核として発展を遂げてきた中心市街地は、大規模店舗の閉店、国家公務員宿舎等の廃止・売却に伴う土地利用転換などの様々な課題が顕在化してきています。

今後これらの課題に対応していくためには、多様な主体の連携・協働が中心市街地の将来像やまちづくりのコンセプトを共有し、その実現に向けて連携・協働して取り組んでいくことが必要不可欠となります。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

なし

○ 未来構想における根拠又は位置付け

本ビジョンは、市の基本的なまちづくりの指針である「つくば市未来構想」にある未来の都市像、土地利用構想をふまえ、つくばコアエリアの将来像やまちづくりの方向性を明確にするものです。

○ 関係法令及び条例等

- つくば市都市計画マスタープラン2015
- 研究学園地区まちづくりビジョン

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果(算出できるものはコストを含む)

目標を共有し、本ビジョンの実現に向けて市民・事業者・行政等と連携し、まちづくりを進めることが期待されます。